

2022年度 第2学年 家庭科 指導内容・評価規準

担当 (茂川 未咲希)

< 2 学年の重点指導目標 >

- ① 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る機能を身につけるようにする。
- ② 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- ③ 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

通年 ICT 使用

月	学習事項	学習活動	時数	評価規準
4 月	食品が食卓にのぼるまで ①生鮮食品の選択と保存 ②加工食品の選択	○生鮮食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。 ・生鮮食品の特徴と表示内容、保存方法を知る。 ○加工食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて加工食品を選択できる。 ・加工食品の特徴と表示内容などを知る。	1	・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。(知識・技能) ・食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。(思考・判断・表現) ・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。(主体的に学習に取り組む態度) ・日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。(知識・技能)
	③食品の安全と情報	○食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。 ・食の安全を保っているしくみを知り、食品の情報を適切に判断して選択できる。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	2	・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切に選択できる。(知識・技能) ・食品の選択について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。(思考・判断・表現) ・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
5 月	①調理の計画	○調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ・調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。	2	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。(知識・理解) ・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。(思考・判断・表現) ・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。(主体的に学習に取り組む態度)
	②おいしさと調理	○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。 ・混合だしをつくるなどの体験を通して、おいしさと調理の関係を理解する。		
	③ますます好きになる肉の調理	○肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。 ・肉の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、肉の調理をする。	1	・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(知識・理解)
	④こんなにおいしい魚の調理	○魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。 ・魚の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、魚の調理をする。	1	・魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(知識・理解)

6月 7月	⑤好きになる野菜の調理	○野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。 ・野菜の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、野菜の調理をする。	2	・野菜に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(知識・理解) ・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。(思考・判断・表現) ・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	地域の食文化	○地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。 ・地域や季節の食材について調べる。 ・だしを使った和食の実習を通して、郷土料理や行事食のよさについて気づく。 ・「生活にいかそう」で、地域の野菜を使った手打ちうどん(あるいは郷土料理)づくりにとりくむ。	2	・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。(知識・理解) ・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。(思考・判断・表現) ・和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	①まかせて衣服の手入れ	○衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。 ・しみ抜き体験など衣服の状態に応じた手入れの必要性を理解し、適切に手入れができる。	1	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。(知識・理解) ・日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定している。(思考・判断・表現) ・日常着の手入れについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	②布の繊維に応じた手入れ	○取扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 ・洗濯で縮んだセーターを見て、なぜそうなったか考えるなど、衣服の素材や状態に応じた手入れができる。	1	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。(知識・理解)
	③めざそう洗濯名人	○衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。 ・洗剤のはたらきの動画を視聴するなど科学的な理解を深め、衣服の素材に応じた洗濯が適切にできる。	1	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。(知識・理解)
	9月 10月	④補修や収納・保管	○衣服の傷みの状況に合わせた方法で補修ができる。 ○衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	1

	布による作品で生活を演出 製作の基礎・基本	<p>○布を用いて生活を豊かにするものを考える。</p> <p>○製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。</p> <p>・生活を快適にしたり、資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族、地域の人の生活を豊かにするための物を製作する。</p>	6	<p>・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。(知識・理解)</p> <p>・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。(思考・判断・表現)</p> <p>・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>
1 1 月 1 2 月 1 月	①住まいのはたらき	<p>○住まいの基本的な役割について理解する。</p> <p>○日本の伝統的な住まいの特徴を知る。</p> <p>・住まいの役割や基本的な機能について考え、各地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気づく。</p>	1	<p>・住居の基本的な機能について理解している。(知識・理解)</p> <p>・住生活について問題を見いだして課題を設定している。(思考・判断・表現)</p> <p>・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>
	②住まいの空間	<p>○住まいの空間の使い方について理解する。</p> <p>○さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解する。</p> <p>・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。</p>	1	<p>・家族の生活と住空間との関わりが分かりについて理解している。(知識・理解)</p> <p>・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。(思考・判断・表現)</p>
	①家庭内事故への備え	<p>○家庭内の事故の種類と、その原因を知る。</p> <p>○幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。</p> <p>・年齢別による家庭内事故の特徴を知り、安全に住むための対策を考える。</p>	1	<p>・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。(知識・理解)</p> <p>・住生活について問題を見いだして課題を設定している。(思考・判断・表現)</p> <p>・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>
	②災害への備え	<p>○地域さまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。</p> <p>・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。</p>	2	<p>・自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。(知識・理解)</p> <p>・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。(思考・判断・表現)</p>
	持続可能な住生活をめざして	<p>○持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。</p> <p>・持続可能な住生活のために、課題を見つけ、改善方法を考える。</p>	1	<p>・社会や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定している。(思考・判断・表現)</p> <p>・社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。(思考・判断・表現)</p> <p>・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>

2 月	①消費生活のしくみ	<p>○物資とサービスの特徴がわかる。</p> <p>○消費生活のしくみがわかる。</p> <p>・「わたしの興味関心」で自分の生活をふり返りながら、消費生活・環境に関する考えを深める。</p> <p>・自分の生活を支えているものについてあげる。</p>	1	<p>・物資・サービスについて理解している。(知識・理解)</p> <p>・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定している。(思考・判断・表現)</p> <p>・商品(物資・サービス)の選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>
	②家庭生活における収入と支出	<p>○収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。</p> <p>・優先順位を考え、自分にとっての計画的な金銭管理とは、どのようなことかを考え、まとめる。</p> <p>・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。</p>	1	<p>・計画的な金銭管理の必要性について理解している。(知識・理解)</p> <p>・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。(思考・判断・表現)</p>
	①いろいろな購入方法	<p>○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。</p> <p>・店舗販売と無店舗販売(通信販売)の長所と短所について話し合い、発表する。</p>	1	<p>・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。(知識・理解)</p> <p>・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。(思考・判断・表現)</p> <p>・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>
	3 月	④情報を活用した上手な購入	<p>○生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。</p> <p>・商品を購入するときは、情報を集めること、価格だけではなく、品質、表示やマーク、環境などを検討し選択することを考える。</p> <p>・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。</p>	1
①なくならない消費者被害 ②消費者を支えるもの		<p>○消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。</p> <p>・教科書や地域の消費生活センターの資料から中学生に多いトラブルの内容を知り、自分の経験を発表する。</p> <p>○消費者を支えるしくみについて理解できる。</p> <p>・消費者を支える機関や法律の必要性を知る。</p>	1	<p>・消費者被害の背景とその対応について理解している。(知識・理解)</p> <p>・消費者被害の背景とその対応について理解している。(知識・理解)</p> <p>・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。(思考・判断・表現)</p> <p>・消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>

③消費者の権利と責任	○消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。 ・消費者の8つの権利と5つの責任を身近な事例等を通して理解する。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	1	・消費者の基本的な権利と責任について理解している。(知識・理解) ・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。(思考・判断・表現) ・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
①消費行動が社会に与える影響 ②消費行動が環境に与える影響	○購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。 ・自分たちができるエシカル消費について考える。 ○環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。 ・環境を考えて家庭でも取り組めることを具体的に考える。	1	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。(知識・理解) ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。(知識・理解) ・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。(思考・判断・表現) ・よりよい生活の実現に向けて、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
③世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	○持続可能な生活にするために、自分たちができることを考える。 ・SDGsの特に12の目標における自分の取り組み方について考える。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	1	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。(知識・理解) ・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。(思考・判断・表現)

< 補充教材（発展的内容）の取り扱い >

中学生の生活体験に触れることで、興味関心をもたせる。
後に、個人が興味をもって深めていけるように動機付けをする。
また、教材をより理解するために補充的な教材を使用する。

< 評価の方法 >

観点1ア) (知識・技能) : 実技、筆記テスト、課題提出の内容、
観点2イ) (思考・判断・表現) : 実技、授業への取り組み、自己評価カード
観点3ウ) (主体的に学習に取り組む態度) : 実技、授業へ取り組み、課題提出の内容、自己評価カード

< 評定算出にあたっての重みづけ >

観点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
重みづけ	1	1	1